

東日本手外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

令和6年10月7日号

October 07, 2024

●●● 第39回東日本手外科研究会開催にあたって

第39回東日本手外科研究会を2025年2月22日（土曜日）、北海道立道民活動センターかでの2・7で開催させていただきます。本研究会を札幌医科大学で担当いたしますことを大変光栄に存じます。

今回の研究会のテーマを「次の一手、新しい知見を求めて」とさせていただきました。治療に難渋している症例の新しい打開策としての次の一手、診断や治療法が確立されている疾患や外傷に対する新しい視点からの次の一手、基礎研究の成果を臨床応用するために必要な次の一手、さらに大きな視点からではマイクロサージャリーや関節鏡視下手術が手外科の発展に大きな影響を与えたように、手外科診療の新しい分野となるような次の一手、など「次の一手」には、多くの意味が含まれています。

本研究会は、1991年に第5回を故石井清一先生が開催され、2017年に第31回を青木光広先生が開催されています。今回で札幌医科大学としまして3回目の担当をさせていただきます。これまでに多くの先輩たちが築かれた伝統と業績を大切にしながら、私たち後輩や若手医師たちが楽しめるような研究会にしたいと考えております。

特別講演は、日本手外科学会前理事長で、北海道大学医学部整形外科教授の岩崎倫政先生にお願いを致しました。教育研修講演では、札幌医科大学整形外科准教授の江森誠人先生に骨軟部腫瘍専門医の立場から手の腫瘍についてご講演を頂く予定です。また、特別企画として、皮膚科、免疫・リウマチ内科、小児科の先生から「手から診た他分野の疾患」と題して、それぞれのご専門の立場からお話を頂きます。そのほか、シンポジウム1つ、パネルディスカッション2つ、主題5つを企画しました。さらにランチョンセミナー3つ、アフタヌーンセミナー1つ、ハンズオン2つを予定しており、盛りだくさんのプログラムとなっております。本研究会は若手医師やベテラン医師にかかわらず、自分の経験や考えを自由に発表し、論議できる場と考えます。是非とも活発なご討議を頂き、その中から何か新しい知見を見つけるきっかけとなれば幸いです。

札幌の2月は雪が多く、寒い時期ですが、多くの観光イベントが開催され、ウインタースポーツも盛んです。この時期の札幌は大変な賑わいを魅せていると思います。美味しい食事とお酒をご堪能して頂きながら、冬の北海道を楽しんでいただければと思います。多くの皆様と札幌でお会いできますことを楽しみにお待ちしております。

第39回東日本手外科研究会 会長 射場 浩介
(札幌医科大学運動器抗加齢医学)

●●● 第40回東日本手外科研究会

このたび第40回記念となる東日本手外科研究会を開催させて頂くことになりました。大変光栄に存じます。本研究会は1987年に発足し、東日本地域の手外科診療・研究に大きく貢献してきました。その研究会が今回で40回を迎えます。宮城・仙台での研究会は第29回（2015年）の宮坂芳典会長以来2度目、形成外科での開催は3度目になります。東北大学形成外科学講座としては初の開催で、教室員一同誠心誠意をもって開催に努めます。開催時期は2026年2月11日の祝日（仙台国際センター）といたしました。初めての祝日開催ですが、休日なので土曜診療の先生がた、開業の先生方にもたくさんご参加いただけるものと考えております。テーマは『体験する手外科 ～知と体験の架け橋～』と致しました。40回記念大会となる本研究会は、学会・研究会で

の知識を実際の臨床体験に直結させるということを主眼に置きました。明日から本当に役立つ研究会として、手外科医が集って大いに議論する大会にしたいと思います。仙台は都心や各地からのアクセスもよく、観光やグルメに恵まれ、また映画や漫画、ドラマの舞台となった街でもあります。多くの皆様方が参加していただき、冬の仙台で熱い議論を交わし、素晴らしいひと時となりますように、今から鋭意準備をさせていただきます。多くの皆様方のご参加をお待ちいたしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第40回東日本手外科研究会 会長 鳥谷部 荘八
(仙台医療センター形成外科・東北ハンドサージャリーセンター)

●●● 第41回東日本手外科研究会

この度第41回東日本手外科研究会を開催させていただくことになり、身に余る光栄に存じます。本研究会は、第4回を故鳥山貞宜教授、第11回を故佐藤勤也教授、そして第28回を小生のmentorである長岡正宏教授が主催しており、日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野としては4回目の担当になります。会期は2027年2月6日または1月30日の土曜日に都内開催の方向で検討しております。研修医から重鎮の先生まで誰もが参加・発表・討論したくなるような研究会を目指して日本大学整形外科上肢班メンバーの力を借りながらテーマや企画を考えていきたいと思っております。たくさんの先生方のご参加をよろしくお願い申し上げます。

第41回東日本手外科研究会 会長 長尾 聡哉
(板橋区医師会病院 整形外科/日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野)

●●● 運営委員会から

以下に、令和6年2月2日に開催いたしました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. **第37回東日本手外科研究会**：令和5年1月28日、第37回東日本手外科研究会が千馬誠悦会長（中通総合病院）の主催のもと、成功裏に無事終了いたしました。
2. **会員動向**：新入会員44名で、現会員数は681名となりました。
3. **会長・次期会長の承認**：会長に射場浩介先生（札幌医科大学運動器抗加齢医学）が、次期会長に鳥谷部 荘八先生（仙台医療センター形成外科・東北ハンドサージャリーセンター）が承認されました。また次々期会長に長尾聡哉先生（板橋区医師会病院 整形外科/日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野）が選出されました。
4. **新名誉会員の承認**：坪川直人委員、西田淳委員、三上容司委員、山本謙吾委員の4名が推薦され承認されました。
5. **新監事の承認**：西田淳委員、三上容司委員の運営委員退任に伴い、佐藤和毅委員、中村俊康委員の就任が承認されました。
6. **運営委員**：任期満了を迎えた21名の委員（尼子雅敏、新井猛、有野浩司、石垣大介、小笹泰宏、川崎恵吉、神田俊浩、金潤壽、佐々木薫、中村俊康、南野光彦、西浦康正、根本高幸、長谷川和重、原 章、福本恵三、森谷浩治、柳林聡、六角智之、若林良明、和田卓郎）に関して再任が承認されました。

また新運営委員として、幸田久男先生（新潟手の外科研究所）、高井盛光先生（黒須病院）、永井太朗先生（右田病院）、山本真一先生（横浜労災病院）の4名が選出されました。

●●● 東日本手外科研究会事務局

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル (株)アイ・エス・エス内
TEL: 03-6369-9984 / FAX: 03-6369-9982 / E-mail info@ejhand.jp
URL <http://www.jssh.or.jp/ejhand/>